受験に向けてワンポイント！

受験シーズンまであとわずか。これから受験を迎えるお子さまも、まだ先の話というご家庭も後悔しない為に受験のプロからワンポイントアドバイス。

首都圏中学入試　受験校選び成功の7か条

家庭教師のアクセス　榎本勝仁

第一条　第1志望校は子どもの意思を尊重せよ

実際に学校に通うのは子どもであって、本人が喜んで通えることが大切です。親が思う学校を押し付けると、本人の受験への意欲を失いかねません。

そして一度第一志望校を決定したら、できるだけ変更せず、本人の気持ちを高めていけるようにしましょう。

第二条　第2志望校以下の学校選びが“成功のカギ”と心得よ

第一志望校に合格する受験生よりも合格できない受験生のほうが多いのです。そのためにも受験する学校は、わが子に合っている学校、親としてもわが子を心から通わせたい学校を選ぶべきです。それには受験する可能性がある学校は実際に足を運んで、自分の目で確かめるという作業が必要です。

第三条　安全校はできるだけ“早め”に受けておくべし

「チャレンジ校」、「実力相応校」を受験する前に、安全校を受験し合格しておくことで、心に自信とゆとりをもってそれ以降の試験に臨めます。

必ず複数の安全校を受験校として選び、1校はできるだけ早めに受けましょう。

第四条　1月入試は例年以上に厳しいと覚悟して臨むべし

例年、受験生の多くが2月から始まる東京・神奈川入試に備え、“試し受験”として埼玉・千葉等の1月入試の学校を受けます。

このため、1月入試は受験生の増加に伴って、年々厳しくなってきています。小学生の場合、最初でつまずくとなかなか立ち直れないことがよくあるので、確実に合格できる学校を選ぶようにしましょう。

第五条　入試問題との相性も必ず考えるべし

入試問題は「こういう問題ができる受験生に入学して欲しい」という学校からのメッセージでもあります。問題との相性がいい学校は、合格しやすいだけでなく、実際に入学してからも相性がいい場合が多く、入学後の学校生活を考えてみても、ベターな学校と言えます。

そこで、受験候補の学校については、必ず「過去問」をやらせてみて、その問題との相性をみてみましょう。

第六条　何を重視するのか家庭の方針をはっきりさせよ

「何を重視して学校を選ぶか」という家庭の方針がはっきりしていないと、偏差値やムードだけで受験校を決めてしまい、いざ入学してみたら、こんなはずではなかったと後悔することになりかねません。

「わが子に合った学校はどこか」「わが子の力を伸ばしてくれる学校はどこか」という視点で家庭の方針を決めるようにしましょう。

第七条　最後は親の決断力が成功に導くと知れ

実際に良い結果を出している家庭は概して受験校の決定が早いものです。これは、親の決断力が子どもにも伝染し、受験に勢いが出てくることが大きな要因となっているようです。

中学受験においては、受験校の検定は塾まかせにしては駄目です。最後は親が決断して下さい。決断をすることで、子どもだけでなく、親も一緒に成長できるのが中学受験の良い点で、そうした親子の成長が中学受験を成長に導くのです。

以上を踏まえて、悔いの無い受験を向えられるよう心より応援いたします。頑張って下さい。

お役立ち情報

家庭教師を初めてご利用の方に

①電話の勧誘にうっかり乗ったばかりに…

○○ちゃんのお宅でしょうか？○○ちゃんのお母さんはおいでになりますか？などと何度も掛けてくるあの勧誘電話のことです！うっかり話に乗った6年生の子供さんを持つ山根さんも、契約段階になってメ子供の性格に合わせてカリキュラムを作成するモと言われ、よく分からないまま契約した。結局「60万円の教材セットを買わされたのだ！」と気付き110番に相談されました。

②チラシを見て学生サークルに申し込んだら

よくある新聞に折り込まれたり、ポストに投げ込まれていたチラシを見て申し込んだ室井さんは。学生サークルを装う業者であったこと、チラシにメ高額な教材販売はありませんモと書いてあったのに、「35万円の指導書」が存在したこと、○○大学の学生中心と聞いたのに△△大学生だったこと等から、業者への不信感をつのらせ中途解約の決意をされました。

③コマーシャルを見て申し込んで見たら…

夏季講習が1万円で受けられると宣伝していたので申し込んだ。

しかし業者はメ1万円の夏期講習モを受けるには、通常コースの契約をする必要があると強く契約を勧めた。「考えさせて欲しい」と伝えると、では5千円預からせて貰う、正式に契約する時に入会金から5千円を差し引く、キャンセル通知が届いたら返金すると言う。…どう考えても納得できないと相談された。

どのケースも、業者の本当の狙いが「高額な物品販売」であったり、「充分な利益の見込める契約の締結」である事がわかります。それらを誤魔化したり隠したりして近づく行為を法律で禁止しています。おかしい！しまった！と感じたら派遣業者へ通知する前に、県民プラザ消費生活センター又は当組合までご相談下さい。解約についての正しい情報を提供致します。

トラブル事例紹介 2

苦情トラブル110番

家庭教師のアズ　栗原洋祭

家庭教師と教材販売の目に余る事例

Aさんは名古屋の某会社の担当者に勧められ、家庭教師の申込と同時に2教科で51万7千円もする教材のクレジット契約を結んだ。

しかし金利の余りの高さに驚き、現金払いに変更したのだが、現金取引契約書の交付は行われず、そのまま家庭教師の学習が始まった。

成績は全く変化せず、生徒もやる気を見せぬままの状態が続く。

その後、違う会社の京都支店の担当者の突然の訪問により「2教科の教材しかないから成績は上がらない。あと3教科それ得れば生徒さんもやる気になるので信じて欲しい。」と説得され、追加で3教科の教材を追加した。

しかし、実際には、生徒も勿論、担当の家庭教師もその教材を全く利用せずに、教科書で指導している始末であった。

解約をしたいと考えたのだが、契約書には関係法令の違反や、中途解約に関する記述すらなかった為、方法を探し家庭教師トラブル110番に相談し、消費者センターと相談の上、中途解約へ向けて交渉を開始した。

時代に沿って変わり行く高校受験

慶応アシスト　和田憲治

詰め込み入試と謳われた高校受験は、90年代をピークにもはや大きく様変わりしています。今、中学生のお子さんをお持ちのお父様、お母様は40歳前後と思いますが、あの頃の受験システムとはまったく違ったものになってきています。

一番大きな変化は、やはり入学試験のあり方についてです。入学試験のシステムは、いつでも時代に合わせて変わるものです。配点を変えてみたり、時間を変えてみたり、などなど。しかし、今は入学試験のあり方自体が変わって来ている。これが大きな違いです。今の入学試験は、入学試験であって入学試験でない。なんだか禅問答みたいでわかりにくいですね（笑）。わかりやすく言うと、入学試験はもはや重きを成さない、ということです。

では、以下に要点ごとにまとめて行きましょう。

1　受験より推薦

例えば、神奈川では定員の半分が推薦です。中学校3年生の半分が入試を受けないんですね。厳密に言えばテストはありますが、いわゆる入学試験という、一発勝負的なものではありません。あくまで推薦枠内での、倍率も限りなく1倍に近い中でのテストです。つまり今の入学試験は、振り落とす試験ではなくなってきている、というわけです。もちろん学区トップの学校など一部を除きますが、極論、受験勉強自体が必要ない、ということになります。

ご存知でしたか？お住まいの地域によって差はありますが、もはや受験勉強は高校進学においての優先度は高くありません。もっと重要な要素があるんですね。そちらの対策の方が重要です。

では、何の対策が必要なのでしょうか。

2　やっぱり内申点

入試以上に高校進学において重要なものは、普段の定期試験をはじめとする内申点と言われるものです。「そんなの前からじゃない?!」とおっしゃる方もいらっしゃるかと思いますが、誤解のないように説明します。

まず、入学試験自体がほぼなくなりつつあることにより、もともとの重要度にさらに重みが加わったこと。次に、授業の多様化があります。今は、企業へ体験入社や株式の授業、英会話の授業など、いわゆる入試に直結しない科目の勉強がすごい勢いで増えています。ですので、入試に向けて、という意味でのいわゆる勉強だけではない、という

新しいスタイルに代わりつつある高校受験は、中学校1年生から、主要科目をいかに時間を短縮して取り組むことが出来るか、にかかってきています。そういった意味では、昔ながらの『とりあえず塾に』ではなく、「学校が終わった後の部活も含めた総合的な時間の使い方への対策」が必要になります。

私たち家庭教師は、ただテスト前にわからないところを教える、という今までのスタイルではなく、普段からどのように勉強を進めるべきか、ということを一番に考えることを提案しています。

さあ、新しい高校入試制度に対応した勉強を始めましょう！

3　長期戦略

長期的な戦略が必要です。毎回の定期試験前にガーっと勉強して、部活を引退してから本格的に、という勉強スタイルはもう時代遅れ。私立高校を狙うならいざ知らず、公立高校を狙うなら内申狙いの勉強スタイルの方が有利ですらあります。

多様化した授業に向けて、主要科目以外に時間を割けるように普段の生活を作っていくことが重要です。なんといっても、定期試験の回数が減ったために、1回の試験の範囲は増えているわけですから。つまり、中学校3年生になってから頑張るというよりも、普段からそれなりに、というスタイルですね。

実は、勉強する上ではこういうスタイルのほうが後々プラスになります。大学受験においても勉強習慣をつけ、さらに時間を計算するようになりますから、いろいろな意味でメリットがあります。ただし、なかなか1年生の段階から対策する方が少ないのが現状。それは、以前の入試スタイルをイメージされるご両親が多いからです。

大学入試、近年の動向

家庭教師・学参　森田守保

大学全入時代

近年、大学入試を語る上で必ずキーワードとして登場する「大学全入時代」。理論的には、選びさえしなければ、必ずどこかの大学に入学できる時代の中で、大学は受験生を選ぶのではなく、受験生に選んでもらえるように工夫しなければならなくなった。

こうした状況が、これまでの入試の様相を大きく変化させている。具体的には、まず、特に私大における人気校への受験生の集中だ。単純に考えて、大学の入学定員が減らずに受験生が減れば、従来の基準であれば合格は厳しいとされていた大学の合格のチャンスは広がる。早慶やMARCH、関関同立などブランド力のある学校は、この状況を利用してむしろ受験者を増やす傾向にある。すると相対的に倍率を低下させてしまう他の大学は、AOや推薦を利用して早めに入学者を確保しようと動かざるをえなくなった。このため、今春の私大入試では、一般入試組が半数を割る結果になってしまった。私大にとって、くっきりと他の大学との差別化ができなければ、入学定員を満たすことはもはや難しい時代になったのである。

国公立大学の動向

そして、国公立大学も、こうした動きと決して無縁ではない。独立行政法人化がなされ、これまでほどには手厚い資金援助が受けられなくなっていく国公立大学でも、学部の再編や入試制度において、徐々に改革が進んでいくことが予想される。既に地方の国公立大では、AOや推薦での入学枠が急増している。

また、医学部の定員増の動きも、国公立大学が、地方自治体と連携して地域の医療の需要に応え、地域の知の拠点としての存在意義を保っていこうとする動きの一環とも言える。

受験生はどうすべきか

しかし、受験生の側では、目先の入試制度の変化に囚われずに大学を選ぶ事が重要である。

オープンスクールなどを利用して直接大学に足を運んでみるのはもちろん、高1、高2といったなるべく早い段階から、進学のための経験豊富なアドバイザーを見つけておくなど、早期の対策が必要となるだろう。

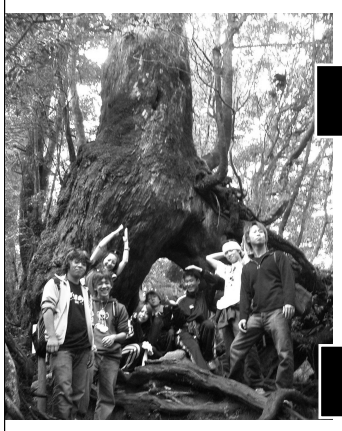
受験のプロのアドバイス、いかがでしたか？
今後受験を迎えるお子様にはいちばん近い受験経験者でもある家庭教師が必ず力になってくれます。
ご家庭も力を合わせてがんばりましょう！

自分に合った高校生活を送ろう！

屋久島おおぞら高校は、学校教育法第一条に定められた高等学校です。

高校転校
高校中退
再入学

高校卒業資格を取得しよう！



自宅学習型
3つのメリット

在宅型だから、自分のペースで学習できる！

1. 広域だから全国から入学が可能！
2. 入試は書類選考のみ！学習意欲があれば誰でも入学可能。
3. 世界遺産屋久島で感動体験！通学は年1回のスクーリングのみ。

通学型
高校生活

全国に広がる指定・提携サポートキャンパスに通学することで高校卒業資格をより確実に取得するための様々なサポートを受けられます。

資料請求・お問い合わせはこちらまで
学校法人 KTC学園 【広域通信制・単位制】
屋久島おおぞら高等学校
〒891-4406 鹿児島県熊毛郡屋久島町平内 34-2
http://www.ohzora.ac.jp
ヤクシマオオゾラ
0120-43-8940

ストレス・気質 を 数値で分析、診断！

子ども診断シリーズ こころの健康診断　勉強のやり方診断

近年の過度の受験戦争に加え、いじめ・登校拒否など、子供を取り巻く環境は、大人の想像以上に複雑なものへと変化しています。まわりの大人が、もう少し早く気付いてあげていれば…。学力の教授のみでなく、『こころの教育』にも力を入れてかなければならないのではないでしょうか？

子供の教育カウンセリングで多数の実績をお持ちの教育臨床額博士、井上敏明教授の監修のもと、子供のストレスチェック『こころの健康診断』、子供の気質チェック『勉強のやり方診断』が開発されました。

新たな教育サービスとして是非ご利用ください！

子供診断シリーズの詳細は下記 HP で。
http://www.kids-dock.info

学援
学習塾・家庭教師の指導に役立つアイテム！
“他にない”“あれば助かる”をご用意します！

商品に関するお問い合わせは
075-241-4404／info@gaku-en.net
株式会社 学援　〒604-8174 京都市中京区室町通三条上るＪりんとう5F